

ゆめ☆まなびネット

河内長野市 美加の台中学校区学校支援地域本部
学校支援コーディネーター 大谷裕美子・辻実千代



学校支援地域本部って？

文部科学省のよびかけで全国で取り組まれ、美加の台では平成 20 年 12 月にスタートしました。学校の教育活動を支援するため、地域の方々にボランティアとして参加してもらえようコーディネートするもので**学校の応援団！**です。

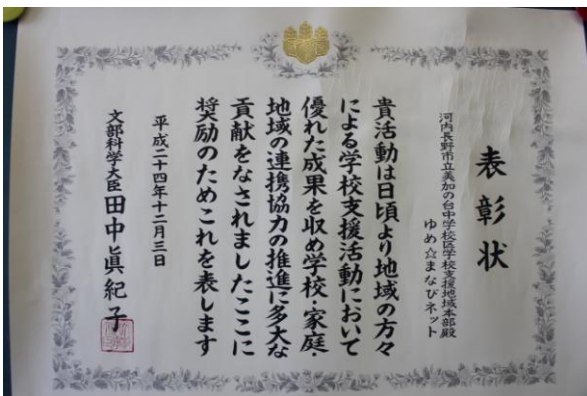
コーディネーターは何をしているの？

週 2 日、中学校のカウンセリングルームと小学校の教室を本部拠点として企画・打ち合わせ・依頼・連絡・調整・広報などの活動をしています。
今年度からコミュニティ・スクールがはじまり、学校運営に地域の参画を呼びかけるようになりました。そのための地域と学校をつなぐ役割をも担っています。



24年度 優れた「地域による学校支援地域本部活動」推進にかかる

文部科学大臣表彰 受賞！



地域の方々による学校支援活動のうち、特にその活動内容が優れていると認められる活動に対し、その功績をたたえ文部科学大臣が選考し表彰するものです。

《受賞の概要》

コーディネーターによりボランティアと学校のニーズが的確につながれ、学習支援・読み聴かせ・部活動支援・登下校の見守りなどの学校支援を行っている。
本部とボランティアの間は、ちびボラさん（ボランティアの近所の小学生）を通じてやりとりがなされ、子どもも活躍できるしくみとなっている。

小・中学校ともに地域連携の担当教諭が置かれ、コーディネーターとの連携を円滑にすすめている。とこどもたち・先生方・地域のボランティアさんそして私たちコーディネーターみんなにお褒めの言葉をいただくことができ、とても嬉しく思います。

平成 24 年 12 月 3 日（月）文部科学省 東館 3 階講堂にて行われた表彰式に出席しました。

*文科省にさざれ石がありました



*子どもたちのために できる人が できる時に できる事を たのしく！！
地域だからできることをみつけて！

たくさんのボランティアさんが子どもたちの教育環境の充実に活躍！！

【小・中学校では】



- ・合唱コンクールの支援（安全サポート・受付・場内案内など）
- ・つながりアップ事業・行事の支援・豚汁づくり
- ・子ども安全サポート（登下校の見守り）・青パトとコラボ
- ・図書室開放・蔵書整理と大掃除

【中学校では】・キャリア教育 労働体験新聞『GOOD JOB!』制作

- ・女子柔道の指導補助、講師研修
- ・部活動の指導補助
- ・家庭科調理実習の指導補助 ・電動工具の使用指導



【小学校では】・家庭科 調理実習・運針・ミシン授業支援

- ・伝統音楽指導補助（お琴・尺八）
- ・クラブ活動の指導補助（華道・茶道）
- ・PTAとの共同花壇づくり、PTA行事支援
- ・遠足・社会見学・学校行事の引率・補助
- ・田植え・稲刈りの引率・補助
- ・懇談会時の子どもの居場所づくり
- ・読書週間の朝の読み聴かせ
- ・図書室の開放、貸し出し・返却・予約
- ・ゆめ☆キッズ（放課後子ども教室）とのコラボ・運営 ・その他多数



学校支援登録ボランティア・・・86名 子ども安全サポート登録・・・271名

実践報告会・事例発表

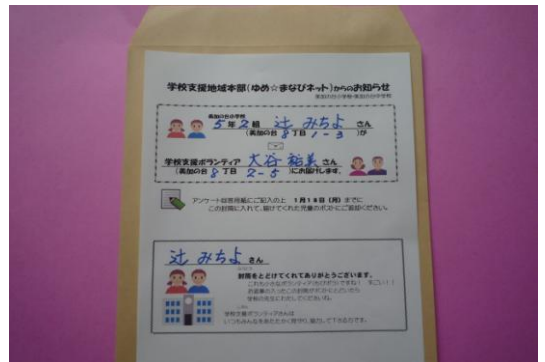
①22年 9月	近畿地区	・社会教育研究大会（滋賀大会）
②22年 12月	府教委	・教育コミュニティー地区別研修会
③23年 1月	市教委	・教育講演会（キックス）
④23年 3月	府教委	・教育コミュニティーづくり実践交流会（中央公会堂）
⑤23年 5月	文部科学省	・学校支援コーディネーターとの意見交換会（東京都霞ヶ関）
⑥23年 12月	和歌山県教委	・コーディネーター研修会（和歌山市）
⑦24年 2月	府教委	・教育コミュニティーづくり実践交流会（ドーンセンター）
⑧24年 2月	交野市教委	・コーディネーター研修会（交野市）
⑨24年 5月	府教育センター	・小・中学校新任教頭研修（教育センター）
⑩24年 7月	文部科学省	・学校支援コーディネーター意見交換会（滋賀県湖南市）
⑪24年 9月	滋賀県教委	・学校支援コーディネーター養成講座（滋賀県庁）
⑫24年 10月	融合研	・全国生涯学習ネットワークフォーラム2012参加事業 融合フォーラム in 東北2012（宮城県仙台市）
⑬24年 12月	文部科学省	・優れた地域による学校支援地域本部推進にかかる 文部科学大臣表彰授与式（文部科学省講堂）
⑭25年 1月	文部科学省	・学びを通じた被災地の地域コミュニティー再生支援事業 石巻・学校と社会との協働教育をめざす教育フォーラム（宮城県石巻市）

* 大阪府教育委員会地域教育振興課のHPにゆめ☆まなびの活動がたくさん掲載されています！！*

*ちびボラ

学校支援本部とボランティアの間の通信を封筒に入れ

ちびボラ（ボランティアの住まいの近所の小学生）を通じてやりとりをしています。子どもたちが小さな役割を担うことで、近所にいるボランティアさんと子どもたちとの出会いの場面づくりをしています。



*大学生ボランティアの活躍

3年間で15名の大学生が放課後学習・行事や部活動の支援などの活動を通して、子どもたちの少し先の目標となってきています。

ボランティアさんが集う場面づくり

（ボランティア全体研修会・子ども安全サポート全体会）
ボランティアさんがやりがいを持って活動していただけるように、毎年、登録ボランティア全員が集まれる研修・交流会や調理実習研修等を実施、顔見知りになりお互いのスキルアップやコミュニケーションの充実を図り子どもたちの教育支援に活かしています。



○小・中学校の先生方の感想

- 教職員の気持ちをしっかり考慮していただき安心感が持てる
- 子どもたちにも地域の方の思いを説明し伝えていかなければならないと思う
- 『地域が子どもを育てる』それが特別なことでなく普通にできることが素敵だと思う
- 地域とつながるためには、まず教師の見方・考え方をかえる
- 規模の小さな学校にとって人的サポートはとてもありがたい
- 引率のサポートで子どもの危険な場面が減った
- ゆめ☆まなびネットの活動に大きな信頼感をもっています
- 学校の求める人材をタイムリーに提供いただき助かっている
- 学校をはじめ地域そのものが活性化し、『つながり』・『きずな』が生まれてきている
- 教育環境を整えるためにとても力になっていただけている
- 子どもたちと地域の方が知り合い出会うキッカケになっている
- コーディネーターとの信頼関係ができている

○学校支援ボランティアさんの感想

- ・ 自分のペースでボランティアをできるのがいい
- ・ 地域の人との新しい出会いがありネットワークが広がる
- ・ 子どもたちから笑顔や元気もらえる
- ・ 大切な学びを経験できる機会である(大学生)
- ・ 楽しく参加でき、やりがいを感じる
- ・ 子どもたちのためにと始めたが、自分のためになっている事に気づいた
- ・ 学校が身近になり、大切にしたいと思う
- ・ 美加の台の子どもに対する関心が深まった
- ・ 次回の依頼が楽しみになる
- ・ 先生方の思いが感じ取れる
- ・ 元気にあいさつのできる子どもがとても増えてきた